

ゆっぽん!

平成16年8月13日発行

第1号

青海町議会議員 伊藤ふみひろ後援会



県議会議員
自民党県連 総務会長
天井 貞先生

連携を図り地域発展

皆様こんにちは。お元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。さて此の度伊藤文博さんの後援会報「ゆっぽん」に寄稿できて光栄であり、日頃の私にお寄せくださるご支援ご厚情に深く感謝申し上げます。また、各地で局地的集中

豪雨に襲われ、大被害を受けられたご家族の皆様にお見舞い申し上げます。私たちも災害に対する心構えを持ちましょう。

地域経済も法人二税が税収を押し上げ、緩やかですが回復の兆しが見えてきました。が、本格的な回復を確実なものにしなければなりません。発想豊かな伊藤議員や各議員と連携を図り、地域発展に寄与したく思います。終りに私が知人より頂いた言葉を贈り失礼します。『掛けた情は水に流せ、受けた恩は石に刻め』



▲小集会 風景



「伊藤ふみひろ後援会」会長
小野 儀徳さん

青海の代表として応援

世代の違う文博さんのこととはよく知りませんが、実際に近しく接してみると、誠実で、良く人の世話をする人柄に加え、若さと行動力があります。剣道



田 海
七沢 正之さん

地域発展に期待

昨年四月の当選以来、期待通りの活躍を高く評価しています。1市2町の合併も決まり各地域の特色を生かして豊かな魅力ある新市の建設と、雇用対策、少子高齢化対策など厳しい状況下ですが、英知と若さで地域発展のため、ご活躍を期待します。

一年を振り返って

昨年の4月27日の選挙で初当選させて頂き、5月15日の臨時議会で初議会を経験して以来、一年を経過しました。

議員活動が加わって、新たなワラジを履いた生活は、予想以上に忙しい毎日、慌ただしい日々を送っています。

合併に向かつての大切な時期に議員となった重責を感じながら、未熟ながらも新人議員として精一杯の活動をしてきて、大いに勉強となった一年間でした。私のモットーは、「有り合わせ

精一杯」であり、性分からいっても当然のことながら、議員としてドツブリと首までつかって活動している自分を、未だに何とも不思議に思うことがあります。

振り返ってみますと、自分なりに努力したこの一年間でしたが、現在と比較しても、余裕の足りない状態が続いたように思います。

議員としてより多くの経験を積んで、余裕を持って活動できるように、薄紙を一枚一枚重ねるごとく正精進いたします。

そして、有り合わせを尽くして皆さんのお役に立ちたいと思っております。



▲剣道指導風景



須 沢
井川 淳子さん

父母の仲間が議員に

父母の仲間と想っていた伊藤さんが議員！人となりを信じて応援させていたでいます。知り得なかつた公人としての魅力、的確で筋の通った判断は今まで以上に信頼・相談できる方だと実感しています。多忙極まりないと思いますが、ご活躍を期待しています。

編集後記

当選から一年が経過し、伊藤文博議員は私たち後援会の期待どおり、精一杯の努力と活動を行っています。町政についての勉強会や小集會に参加しているうちに、一人でも多くの皆様に伊藤ふみひろ氏の「人となり」と「活動」を知っていただきたい。広報委員会を立ち上げ「ゆっぽん！」の発行に至りました。政治は、とかく難しく考えがちですが、まずは一番身近で起きていることに興味を持って、家族や友人の会話の中に「ゆっぽん！」の内容が一つでも出てくるようなものを作っていきたいと思っております。

(碓屋)

伊藤ふみひろ後援会

★連絡先★

☎0255-62-3759 青木
☎0255-62-4475 伊藤(信)
☎0255-62-2121 比護
E-mail : itou02@ito-omi.com



この6月議会で、私は一般質問を控えました。自分なりの反省の中で、議員活動に根付いたしっかりした課題を持って一般質問を行うべきと考え、「一般質問をしなければならぬ」という感覚にひと区切りをつけるためです。

住民の皆さんや行政と膝を突き合わせた日常活動を基本とし、その活動の範囲を超えたものを一般質問で問いました
「ゆっぽん」 太い筋を貫いた姿勢で臨みたいと、決意を新たにしています。

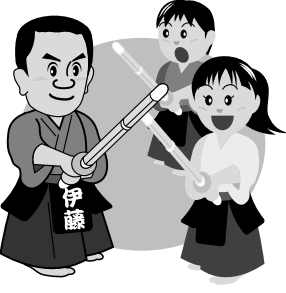




新「糸魚川市」をこうしたい!!

1 子ども達が伸び伸びと育つ地域

心豊かな子ども達が育つ環境の整備に努力します。自ら体を動かし剣道を通じての「青少年健全育成」にも継続して尽力し、永年の経験と思想を活かして教育問題に取り組みます。子どもは宝です。



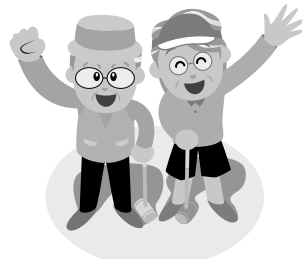
2 人に優しい地域

福祉、介護、支援、環境の整備を促進します。人々が安心して生活できる地域を目指します。



3 高齢者が元気な地域

介護を受けなければならぬ高齢者の減少を目指して、中、高齢者の健康促進を推進します。大勢の人が元気で「青海通り線」を歩いているなんて素晴らしいですね。



4 若者が定着する地域

若者の定着は、地域のすべての問題に還ってきます。若者が定着しなければ、財政の問題も福祉の問題も苦しくなる一方です。雇用の確保と、低家賃の住宅や子ども達の教育環境の整備、社会資本の整備による生活環境の改善により、若者が「ここに住みたい」と思える地域づくりが大切です。少子高齢化は難題の1つですが、地方議員の立場で、今やれることに有り合わせを尽くします。



5 豊かな自然を大切にした環境に優しい地域

地球環境が心配です。子々孫々にまで豊かな地球を残してやりたいものです。真剣に環境問題に取り組み、この豊かな自然を守る努力をします。



6 女性が力を発揮できる社会

「男女共同参画社会」に関する議論、取り組みが活発になっています。男女が本当の意味で互いを大切にしよう社会に取り組みます。



市町合併への取組

一、合併の是非

昨年の町議会議員選挙時には、町内10数箇所街頭演説を行い、一貫してハッキリと「合併推進」を主張してきました。最近も、若手の勉強会や小集会をなるべく多く開いて、合併について説明する努力をしています。



北斗町 森道弘さん

市町村合併は「する前とした後」で論じられることが多い中、若手の勉強会や小集会での伊藤議員の説明は「合併をした場合としない場合の10〜20年先」を考へて論じられ、大変勉強になりました。「常に将来を見据えた視点」と「いっぽん通った太い筋」にこれからも大いに期待いたします。

二、議員の身分問題

合併の理念からいって、合併と同時に失職して新市の法定数30人で選挙を行う原則論の「設置選挙」で行くべきだと考え、主張してきました。当初は、議会の特別委員会で意見を聴取すると、多くの議員が（最大では2年間の）在任特例を主張し、私一人で「設置選挙」を主張しているに近い状態でした。（議長・特別委員長は立場上、発言しませんので）



須沢 伊藤信太郎さん

昨年の町議選で、伊藤さんの考えをお聞きし、是非とも応援させて頂きたいと思いました。特に議員の身分問題では、在任特例派が殆どで、私は呆れ返っていました。住民の立場から、巨額な経費の在任特例は避けるべきでしょう。何の為の合併か考えれば当然です。合併後の多くの問題を解決し公平な新市を造る為には、民意を大切にすることを持った議員を選ばなければなりません。



三、新市の名称

私は本来「糸魚川市」でもいいと思っていました。しかし、法定協の説明には疑問を持っていました。「ひらがな、カタカナは避ける」という方針にも疑問がありますが、「翡翠」は難しいからと「ひすい」にしたのに対し、「奴奈川」は漢字にしながら「奴」の字が悪いという説明でした。片方は、漢字が難しいからとひらがなにしながら、「糸魚川市」の有力対抗候補であった「奴奈川市」は、漢字が悪いと事実上抹消されてしまいました。漢字が悪ければひらがなを選ぶべきなのに……

もう一つの疑問は、「奴奈川」が本当に悪い字かどうかです。一説には「奴」の字は、「珠」＝「翡翠」を表すそうであり、決して悪い文字ではないと言っています。「奴奈川」の名称も各団体名称で使われていますが、そのあたりからの反論がないのも、どうにも「糸魚川」ありきで、なにかと地域エゴを感じます。



合併に地域エゴが出るとうまくいきません。

新糸魚川市を住みよいまちにするためには、1市2町がスクラムを組んで合併に向かう必要があります。建設的姿勢で、有り合わせを尽くしていく覚悟です。



本町 小野綾子さん

「糸魚川市大字青海」新住所も決まり、期待と不安が現実のものとなりました。私は合併を体験できることを嬉しく思っています。話を聞き、知識を広げ、男女共同参画社会の第一歩にしたいと念じています。いつの日か、糸魚川ガイドブックを手に、美しい山と海を皆様に案内できる日も楽しみにしています。

